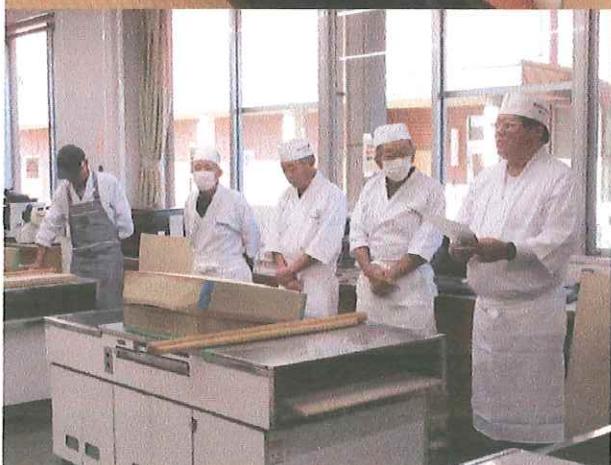


県退公連安達支部 支部だより	今回の主な内容	◆そば打ち体験教室 ◆新春の集い（新年会） ◆今年度の専門部の反省 ◆現職の皆様からの協賛金報告 ◆物故者報告 ◆編集後記
発行日 令和7年 2月15日 発行者 支部長 渡邊 文勝		

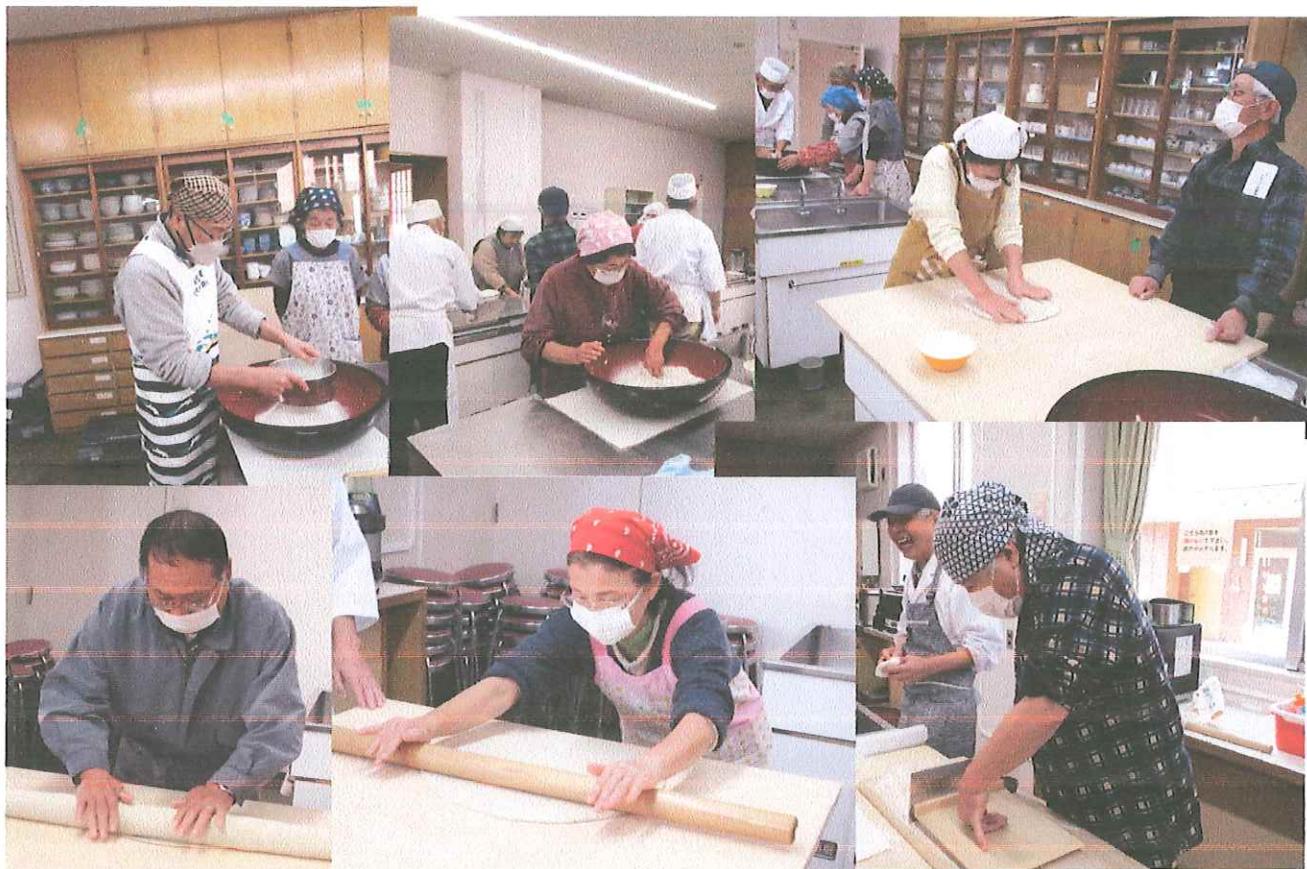
そば打ち体験教室盛会に開催

令和6年12月7日(土)に安達公民館に於いて、年金部主催・女性部共催の『そば打ち体験教室』が15名の参加の下開催されました。



安達そば打ち愛好会の講師の方にご指導を頂きながら、そば打ちを体験しました。

齊藤清一様	伊藤俊一様	官野哲様	小泉裕明様	田代仁一様
-------	-------	------	-------	-------

**参加者からの声****渡邊 祐子 様**

12月7日、安達公民館にて、そば打ち体験教室が開かれました。

私は初めての参加でしたが、グループごと安達そば打ち愛好会の方々から丁寧な説明や手ほどきを受け、「そばをこねる、のす、切る、ゆでる」を楽しく体験することができました。

自分で打ったおそばは格別においしく、また、懐かしい先生方にお目にかかることができ、とても楽しいひとときでした。ありがとうございました。

新年会盛会に開催

開会のことば 安齋副支部長

あいさつ 渡邊支部長



伊藤正様の乾杯の音頭で宴會開始です

ゲームの賞品は三浦正子様作成の和紙の作品です



ようやくカラオケが解禁になり、元気な歌声がきかれました

閉会のことば 原瀬副支部長

令和7年1月18日(土)に34名の参加により二本松御苑にて新年会が行われました。フラダンスあり、ゲームあり、カラオケあり、二次会ありの楽しい会で正月気分を味わうことができました。

令和6年度の専門部からの反省

組織部 部長 安田浩明

8月の地区小中学校長会の折りに、支部長とともに賛助協力のご依頼を申し上げて参りました。お陰様で、全ての学校から賛助協力を頂き、多くの賛助金が集まりました。現職の皆様のご理解とご協力に対し衷心より御礼申し上げる次第です。

さて、ご存じの通り、令和5年4月から2年に1歳ずつ定年を引き上げ(令和5年4月の定年年齢は61歳)、令和13年4月に65歳となりました。このことも影響してか、なかなか新規の会員が増えず、全体として会員数の減少を見せております。こうした中、組織の拡充を図るためにも、勧誘方法を工夫し、本会の魅力を伝えていく必要性を感じているところです。

今後とも本会への勧誘等にご協力よろしくお願ひいたします。

年金部 部長 菅家 英彦

年金部として最大の事業は「そば打ち体験教室」であります。昨年に引き続いで実施することができました。それは、あたり前のことをあたり前に実行できたことへの喜びと安堵感でした。

当日は、「安達蕎麦打ち愛好会」の田代仁一会長さんはじめ、事務局の菅野哲さんや愛好会員総勢5名もの講師の方々からご指導を受け、参加された会員のみなさんは、楽しく和やかに体験されました。講師の方には、蕎麦粉の産地名や合わせる粉、水やお湯の分量を教えて頂くとともに、理科実験ながらの正確さで作業を進めておられる姿に驚きを隠せませんでした。待ちに待った試食会では、自分の打った(?)お蕎麦を頬張りながら各班とも話が弾んでいつまでも席を離れられないようでした。

ますます生きづらいご時世となってきている今日、このような一日を楽しみましょう。

女性部 部長 伊東 祐子

7月13日(土)に福祉センターに於いて、安達支部会員、執行部の男性を含め12名と福島支部の方々4名が参加され、絵手紙作成に取り組みました。

講師には2年前にもお世話になりました会員でもあります小幡美紀子先生にお願いし、先生のご指導のもと一人一人個性的な作品ができあがり、とても有意義な研修会となりました。

12月7日(土)には当初の計画通り、年金部と合同で「そば打ち体験教室」を地元の講師の方々にご指導いただき、実施いたしました。できあがったそばの出来栄えに大いに満足できました。

会員の皆様のご協力をいただき、今年度の活動を終えることができました。ありがとうございました。

次年度も会員との親睦を図るため、楽しい企画を考えていますので、要望やご意見などいただければ幸いです。

福祉部 部長 小泉ヒロ子

令和6年度福祉部の活動をふり返ってみます。

一つ目は、研修旅行の実施です。6月8日、会員22名の参加により山形米沢方面への初夏の旅を楽しむことができました。さくらんぼ狩りも計画しましたが時期が早いとのことで見送りとなり、代わりに浜田広介記念館を見学することになりました。記念館では職員の皆様から大歓迎を受け充実した時間を過ごすことができ、感謝しております。改めて児童文学・童話『泣いた赤鬼』に感動しました。

昼食ランチをゆっくり楽しんだり、上杉神社を参拝したり、散策したりと会員相互の親睦を深めるひとときとなりました。次年度もより多くの方にご参加頂けるような企画をしていきたいと思います。

二つ目は、恒例の絵手紙発信です。小幡先生から原画を提供して頂き、約150名の先輩の皆様に署中見舞いとして発信いたしました。十数名の方がうれしい返信をお寄せ下さり、お元気に過ごされておられるご様子にうれしさを感じます。次年度も継続していきたい活動です。

広報部 部員 渡邊信一良

令和6年度の広報部の活動も、今回の73号をもって最終となります。これまでに原稿や情報をお寄せ頂いた皆様に改めて感謝申し上げます。お陰様で予定しておりました年3回の広報発行を無事に終える運びとなりました。ありがとうございました。

広報発行に当たっては、執行部会に於いて課題としてあげられる問題もあります。写真をきれいに印刷するには、パソコンから直接トナー式のプリンターで印刷する必要があります。このトナーがとても高額なのです。この経費を抑える方法としては、画質は落ちるがすべての面を輪転式の印刷機で印刷することも考えられます。

広報を作成する者としては、より良いものをお届けしたいと考えております。今後ともご協力よろしくお願ひ申し上げます。

協賛金報告

現職の教職員の皆様、今年度もご協力いただき、ありがとうございました。有効に遣わせていただきました。

校種別	校数	教職員数	協賛金額(円)
小学校	25校	356名	97,140円
中学校	11校	187名	53,360円
高等学校	3校	24名	7,770円
計	39校	567名	158,270円

心よりお悔やみ申し上げます

- ・ 上杉 律子 様
- ・ 添田 和良 様

令和6年12月から令和7年1月まで2名の方がお亡くなりになりました。

R7.1.12 逝去 88歳 二本松市本町
R7.1.24 逝去 86歳 二本松市市海道

編集後記

本年度も会員の皆様のご協力により広報を発行することができました。ありがとうございました。
広報に載せたい情報や紹介したい作品等ございましたら、ぜひお寄せ頂きたくお願い申し上げます。